

地元の声 ～農業農村整備の効果～



事業名：農業競争力強化農地整備事業

地区名：堰場（せきば）地区

所在地：福島県会津若松市

事業概要：区画整理工 A=24.2ha



事業内容

農地の区画拡大、用排水路及び農道の整備

→ 作業の効率化、農地の汎用化が可能に



整備前



整備後

地元の声（生産者や施設管理者へ取材）

農事組合法人堰場ファーム里山 代表 相原孝志氏（担い手）
会津若松市湊土地改良区 事務局長 五十嵐賢一氏（施設管理者）

事業の効果

- ・ほ場整備を契機に法人化にも取り組んだ（相原氏）
- ・集落の農地を維持することができているし、田植え、稲刈りは集落総出、それ以外の維持管理は法人でという役割分担もできた（相原氏）
- ・堰場地区を含む地区全体で計画的にほ場整備事業を推進したことにより、1集落1農場を目標として地域毎に9つの農地所有適格法人が設立され、担い手を育成することができた（五十嵐氏）

項目	事業前	事業実施後	効果
用水路の土砂上げ	2回/年	1回/年	50%削減
排水路の土砂上げ	2回/年	1回/年	50%削減
田植え	2.0hr/10a	1.0hr/10a	50%削減
稲刈り	2.0hr/10a	0.5hr/10a	75%削減
大豆の播種	2.0hr/10a	1.0hr/10a	50%削減
そばの播種	1.0hr/10a	0.3hr/10a	70%削減
草刈り	30日/年（人力）	5日/年（機械化）	83%削減
用水取水	1.0hr/10a	0.2hr/10a	80%削減
水田の耕転	1.0hr/10a	0.5hr/10a	50%削減

主要な作業が
半分以上の労力
で実施可能に！！

課題や要望

- ・整備した用排水路等と国道等隣接地との間の法面の草刈りができない状態なので、防草シートの設置などの対策が必要（相原氏）
- ・作業効率化を図るために排水路を管路化し、草刈り作業の省力化や農耕車で移動が可能となるような整備が必要（五十嵐氏）